年　　月　　日

岡山市長
様

受　注　者
住　　所
氏　　名　　印

品質証明員通知書

年　　月　　日付をもって請負契約を締結した次の工事について、土木工事共通仕様書第１編１－１－２２に基づき、下記のとおり品質証明員を通知します。

年度工事

工事名

記

品質証明員　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

添付書類
・経歴書
・職歴

経　　歴　　書

現住所

氏名

生年月日　　年　　月　　日生

学歴　　年　　月　　卒業

入社　　年　　月

職歴　　別紙のとおり

資格　　年　　月　　１級土木施工管理技士　Ｎ０

年　　月　　技術士　Ｎ０

年　　月　　監理技術者資格者証　Ｎ０

上記のとおり相違ありません。

年　　月　　日

氏　　名　　印

添付書類

・検定合格証明書（一級土木施工管理技士・技術士）写

・監理技術者資格者証写

氏　　名
職　　歴

年　　月から　工事名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

年　　月まで　（主任技術者・監理技術者）　（○で囲む）

年　　月から　工事名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

年　　月まで　（主任技術者・監理技術者）

年　　月から　工事名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

年　　月まで　（主任技術者・監理技術者）

年　　月から　工事名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

年　　月まで　（主任技術者・監理技術者）

年　　月から　工事名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

年　　月まで　（主任技術者・監理技術者）

年　　月から　工事名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

年　　月まで　（主任技術者・監理技術者）

年　　月から　工事名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

年　　月まで　（主任技術者・監理技術者）

年　　月から　工事名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

年　　月まで　（主任技術者・監理技術者）

品質証明チェックリスト

1．工　事　名

2．工　　期　　年　　月　　日～　　年　　月　　日

3．施工業者名

※確認時期（日付とチェック）欄には、確認項目が満足されている場合はチェック。不適切は×とし、その場合は記事欄に改善指示した事項を記載のこと。

証明項目	確認項目	確　認　内　容	確認時期（日付とチェック）					記事
			着手前	施　工　中			完成時	
契約内容	発注者の要求品質	共通仕様書第1編第１章総則１－１－３の２に係わる当該設計図書の照査・確認（変更含む）	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
		現場説明事項、特記仕様書の品質に係る内容確認	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
		当該工事の品質に係る要求事項の確認	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
		段階確認（共通仕様書第3編第１章総則１－１－2の6項）項目（提出書）の確認、並びに社内検査工程との整合が取れている。	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
		当該工事の要求品質は技術者（主任・専門・作業主任）及び工事関係者全員に周知徹底がなされている。	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
		協力業者の技術者（主任・専門・作業主任）及び工事関係者全員に当該工事の要求品質について周知徹底がなされている。	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
		当該工事に求められる品質と自社の品質方針との対比。相違を把握。	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
施工計画	施工計画書	施工計画は現場の実情に沿って適正な計画となっており、かつ、現場条件の変動に対してもフロート（余裕時間）がある。	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
		記載事項が網羅されていることを確認。	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
	技術者の適正配置	当該工事への技術者配置（技術者、作業主任）が適正で、求められる品質について適正な指示監督体制が構築されている。	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
工程管理	工程進捗状況	計画工程と実施工程とを対比（変更を含む）し、その乖離は無いか、工程計画の見直しが必要ではないか確認。	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	

証明項目	確認項目	確　認　内　容	確認時期（日付とチェック）					記事
			着手前	施　工　中			完成時	
施工管理	材料仕様確認	工事材料が発注者の求める品質であり、その資料は整備されている。又、品質確認がなされたものを使用している。	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
	測定・試験	設計図書で定められた測定・試験を実施している。又、品質管理基準（必須項目ほか）の試験結果は満足すべきものである。	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
	建設機械の確認	求められる品質を満足するための適切な機械選定がなされ、使用されている。	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
	建設廃棄物の適切な処理	工事で発生する廃棄物を正確に把握し、適切に処理している。また、マニフェスト等の記録が整備されており、トレーサビリティー（追跡可能性）が確保できている。	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
	騒音・振動・塵芥・水質汚染等の適切な処置	適切な時期の届出（特定建設作業等）や付近住民への配慮がなされ、かつ適切な記録がなされ、保管されている。また、トレーサビリティーが確保できている。	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
	施工計画書との整合	施工計画書に記載した工法（仮設工法を含む）、手順、出来形などが現場の施工と整合している。	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
出来形管理	測定機器	測定機器は定期的に試験を行い、点検済みのものを使用している。	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
	出来形管理	品質管理基準及び規格値に沿った管理ができている。	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
	出来形確認	出来形管理表による出来形の確認	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
品質管理	品質管理	品質管理基準及び規格値に沿った管理ができているか。社内の品質目標値に達している。	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
		品質管理図表による品質の確認。品質のバラツキはないか。バラツキがある場合はその原因の確認と現場へその情報がフィードバックされている。	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
	写真管理	品質管理・出来形管理に対応する写真は適切で明確である。また、写真管理基準に基づき、撮影されている。	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
社内検査	品質確認	当該設計図書に基づき、書類検査、現場検査を実施。（施工中、完了時）適正となっている。	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
	判定基準	当該工事に対する合・不合格の判定基準は適正で、適切な判定が行なわれている。	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	

証明項目	確認項目	確　認　内　容	確認時期（日付とチェック）					記　事
			着手前	施　工　中			完成時	
社内検査	不適合に対する是正処置	社内検査の結果、不適合品質箇所が発見された場合は、直ちに修復し、その原因、再発防止措置が取られる体制となっている。	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
	検査記録	社内検査に関する記録が適正となっている。	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
書類管理	品質管理記録	仕様に基づき適切な時期に記録がなされ、欠落がなく、品質に係るトレーサビリティーは確保できている。	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
	写真	品質管理・出来形管理に対応する写真に欠落がない。	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
自由記載項目			／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
			／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
			／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
			／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
			／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
			／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	

上記の通り社内検査した結果、契約図書（契約書・約款・工事数量総括表・図面・仕様書（共通・特記）・現場説明書及び現場説明書に対する質問回答書）その他関係図書に示された品質を確保していることを確認したので、証明します。

品質証明員　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印